

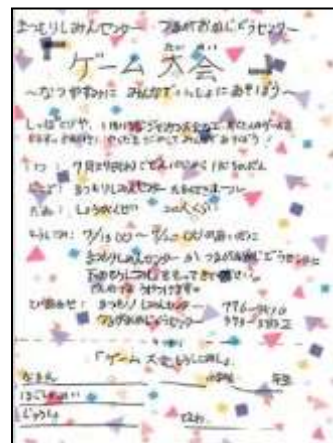
「こども企画会議」

松森市民センター×泉区中央市民センター

1 事業概要

少子化が進む中、地域の中で子育てを行う場である子ども会への入会率は年々減少傾向にあります。また、学校生活の中や放課後の過ごし方をみても大人数で一緒に遊ぶことや異学年で集う機会も減ってきています。

本事業は、未来の担い手である小学生が企画員になり、より良い仲間づくり、地域づくりをめざしたアイデアを立案し、それを学校や児童センターなどの協力を得て実現する事業です。



2 今年度の活動



松森小学校と鶴が丘小学校の3・4年生児童3人が企画員となり夏休みにみんなで体を動かして遊べるイベントを企画しました。

そして7月29日（木）に鶴が丘児童センターと共催で、自主企画イベント「ゲーム大会 ～なつやすみにみんなでいっしょにあそぼう～」を、松森市民センターのホールで開催しました。

ゲームの内容は、「新聞紙じゃんけん」「一分間じゃんけん」「しっぽ取り」「リバーシ」「ドッジビー」で、低学年から高学年までハンディなしで遊べるものとして企画員が考え、ポスター・ちらしも

企画員3人で手作りし各学校へ配布しました。

当日は24名の小学生が3チームに分かれ、企画員の3人がそれぞれのチームのリーダーになって対抗戦形式で行いました。「みちのく松陵」のジュニアリーダーも手伝いに来て、審判や進行、サブリーダー役などを務め、盛り上げてくれました。

参加者たちは、企画員が考えたゲームを目いっぱい楽しみました。

3 成果と課題

イベント後、企画員の児童は、鶴が丘児童センターの中でリーダーシップを発揮し、低学年児童に対する接し方にも大きな変化が見られるようになったと、児童センター職員から報告がありました。

また、企画員の募集やイベント当日の役割分担などを児童センターの協力を得て実施したことで、各々の施設の利点を活かしつつ、双方の連携体制の強化にもつながりました。



4 今後の展望



小学生対象の企画会議は初めての試みでしたが、ゲーム内容やポスター制作について積極的に意見を述べるなど、自主的に行動する力が小学3～4年生でも備わっているのだと手ごたえが感じられました。

将来的には、中学生に対象を広げたり、松森・鶴が丘の両地区の子ども会育成会の協力を得たりしながら、大人たちが地域で子どもたちの育ちを支え、子どもたちが地域への愛着を深めて地域づくりの担い手として成長できるような状況が実現できればと思っています。